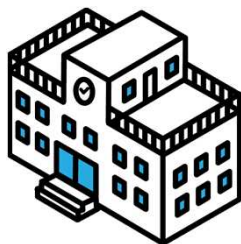


小規模特認校制度・就学の条件等について



つくば市教育局

小規模特認校制度について

- 少人数を生かした特色ある教育活動を展開する小規模校について、「このような環境で学びたい、学ばせたい」と希望する場合、市内全域から就学できます
- つくば市では令和8年度から開始

小規模特認校の学区

小規模特認校学区の児童

栗原小学校
谷田部南小学校
(小規模特認校)

市内の他の小学校の学区

他の小学校区の児童

指定の小学校

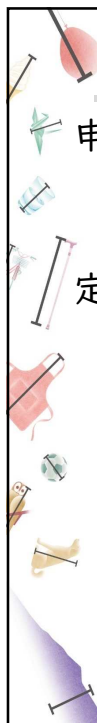
つくば市の小規模特認校

- 学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)ではありません。教育課程は市内の他の公立学校と同様です。
- 児童への特別支援教育の充実を目的とした制度ではありません。
- 自律的な学習や、地域の方や学年が違う児童との交流などを取り入れています。お子様が能動的に学習に向き合えるか、他者との交流を積極的に楽しめるかなど、見学会を通じてお子様に合う環境なのかどうかご判断ください。

小規模特認校への就学(転入学)条件

- ① 児童がつくば市内に居住していること
- ② 小規模特認校の教育方針に賛同して協力できること
- ③ 学校の教育活動及び保護者・地域活動に賛同し、協力できること
- ④ 保護者の負担のもと、保護者等の送迎又は公共交通機関を利用して通学できること
- ⑤ 原則として、転入学の時期は毎年4月1日とし、卒業まで在籍できること

お子さま自身が、小規模特認校の教育活動への参加に意欲を持ち、就学を希望していますか？



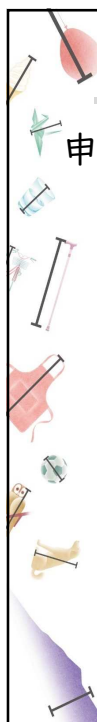
小規模特認校への就学手続き

申請期間：11月下旬から12月中旬予定

- 募集人数に満たない場合は、その後応相談となります。

定員：各学年原則17名

- 募集人数は、すでに就学している児童や、学区内の児童数等を勘案して、毎年度決定します。
- 募集人数を超える申請があった場合は抽選を行います。ただし、すでに在籍している兄弟姉妹関係等を考慮します。
- 現在谷田部南小学校の5年生は定員に達しているため、令和9年度6年生は募集を行わない見込みです。



小規模特認校への就学手続き

申請方法：

教育局学務課へ小規模特認校への就学希望を伝え、個別面談を実施した後、就学校変更申立書を学務課の窓口へ提出してください。

就学希望者向けの相談用フォームを申請期間前に開設する予定です。詳細が決まり次第、市ホームページ等でご案内いたします。

その他：小規模特認校就学について

- ①小学校新１年生の就学時健康診断は、原則、お住まいの住所に基づく指定校で受診してください。
- ②中学校進学の際は、児童の住所地の通学区域にある中学校、または、小規模特認校の区域にある中学校のいずれかを選択できます。
- ③申請の内容等に事実と異なる内容があった場合や就学の条件が満たせない状況となった場合等については、学区外就学の不許可又は学区外就学許可の取消を行うことがあります。

小規模特認校就学までのスケジュール

7月	26日(日)	小規模特認校説明会
	27日(月)	小規模特認校 見学会申し込み開始
9月	11日(金)	谷田部南小学校 学校見学会（授業風景）
	17日(木)	栗原小学校 学校見学会（授業風景）
11月	7日(土)	谷田部南小学校 学校見学会（秋を楽しむ会）
	25日(水)	栗原小学校 学校見学会（授業風景）
	中旬	就学申し込み開始
12月	中旬	就学申し込み締め切り
1月	上旬	※募集人数を超えた場合は抽選実施
	下旬	新入生向け学校説明会
2月	上旬	
4月	上旬	始業式
		入学式

今年度の学級編制について

【在籍人数】

令和8年7月1日現在（特別支援級を含む）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
谷田部南小学校	12	9	8	12	18	12
栗原小学校	8	4	7	5	8	7

 の学年で複式学級を編制しています。

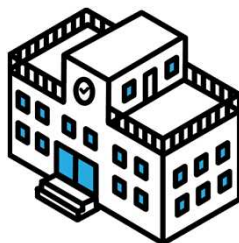
【複式学級】

つくば市の小規模特認校では、県の基準に従い学級を編制しており、児童数によって一部学年で複式学級となっています。

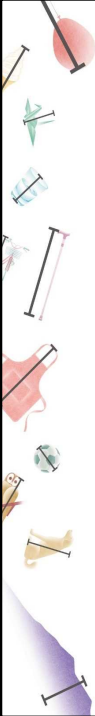
複式学級とは、児童生徒数が少ない場合に複数学年を1つの学級にまとめて編制する学級です。

つくば市の複式学級では、学習内容に応じて異学年での活動も取り入れることで、多様な考えに触れて、人と関わり合いながら学ぶ場面を創出しています。

小規模特認校の特色について



つくば市教育局

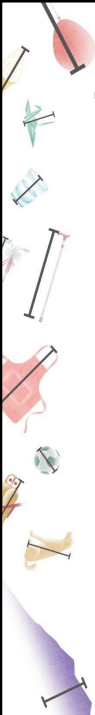


小規模特認校の特色について

1. つくば市の教育と小規模特認校について

2. 少人数のよさを生かした 5つの特色ある教育活動

3. 日課について



つくば市教育大綱

○最上位目標

「一人ひとりが幸せな人生を送ること」

○3つの転換

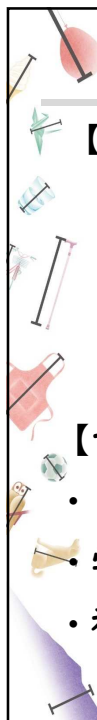
「教えから学びへ」・・・探究する力

「管理から自己決定へ」・・・主体性

「認知能力の偏重から非認知能力の再認識へ」

・・・学力+やり抜く力、協調性、創造性など





つくば市教育大綱とイエナプラン教育の共通点

【イエナプラン】

- ・ドイツ発祥でオランダで発展、普及
- ・オランダでは、200校以上
- ・自律と共生を目指す
- ・異学年学級、
サークル対話（相手を尊重し認め合う関係づくり）、
ワールドオリエンテーション（協働で探究する学び）が特徴

【つくば市教育大綱との共通点】

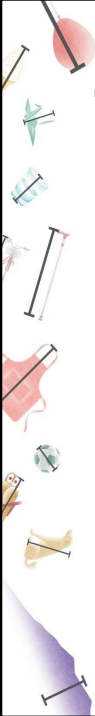
- ・こどもが自ら問いを立て、探究する学びを大切にする
- ・学年の壁を越えた学びを推進し、社会性や協調性を育む
- ・社会とのつながりや体験を重視する 等



つくば市教育大綱の実現に向けて

小規模特認校では、
イエナプラン教育の教育活動を参考にしながら、
教育大綱の実現を目指す





特色ある教育活動

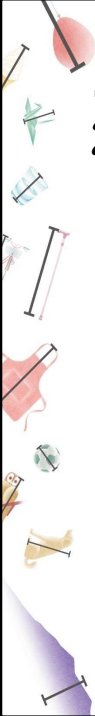
1. 自分のペースで確実に学ぶ

(1) きめ細かな学習支援

- ・興味関心や学習状況に応じた学びの機会

(2) 自律的な学びへの支援

- ・学習内容、方法、場所等を選び、自分に合った学習の仕方で学べるよう支援
- ・目標設定の仕方、学習計画の立て方、振り返りの方法を学ぶ



特色ある教育活動

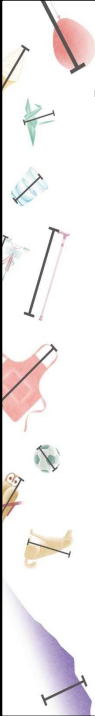
2. 友人・先生と深くかかわる

(1) 社会性を育む異学年学習

- ・様々な考えに触れることで得る気付き
- ・相手意識をもって表現する力

(2) 互いのよさを生かす生活環境

- ・学年の児童を複数教員で見取り、よさを伸ばす
- ・異学年グループ生活により助け合いを学ぶ



特色ある教育活動

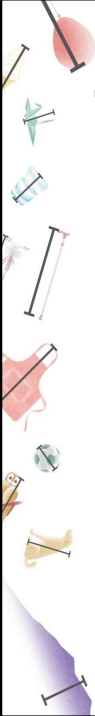
3. 問い（やりたいこと）に とことん向き合う

(1) 体験・探究を通した学び

- ・ 午後は、体験的・探究的な学習が中心
- ・ 試行錯誤しながら学ぶ楽しさを味わう

(2) チームでも個人でも探究

- ・ 課題発見や課題解決の方法を学ぶ
- ・ 粘り強く学習に取り組む力を育む



特色ある教育活動

4. わくわくが盛りだくさん

(1) 豊富な実体験

- ・ 外部人材（地域・専門家）を積極的に活用
- ・ 学園内の学校と学習や行事等で交流

(2) 英語やICTに触れる機会

- ・ ALTと学校生活の様々な場面で一緒に活動
- ・ プログラミングやAIを活用し学ぶ

特色ある教育活動

5. 活躍と挑戦の機会がある

(1)すべての児童に役割がある学校生活

- ・児童がアイデアを出し合いながら、異学年交流や学校行事等を計画

(2)身近な社会とつながる活動

- ・学校生活や地域をよりよくするために、自分たちにできることを考えて実行

日課について

	月	火	水	木	金
朝の会	異学年による活動				
1時間目	【国・算・社・理・英等の学習】 ・一人一人の進度に応じた個別の学び ・友達と一緒に学ぶ協働の学び				
2時間目					
3時間目					
4時間目					
給食 清掃	異学年による活動				
5時間目 (ロング)	【つくスタ・音・図・体・家等の学習】 ・学びたいことを、思い切り学べる探究的な学び ・多様なコミュニティ（人材）を生かした学び				
帰りの会	異学年による活動				

本日はご清聴ありがとうございました。

【ご質問受付フォーム】

小規模特認校に関する説明会における説明内容等についてのご質問は、以下のリンク先にて受付いたします。

皆様からいただいたご質問への回答については、個別回答ではなく、個人が特定される内容を伏せて、市ホームページでの公表をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

https://apply.e-tumo.jp/city-tsukuba-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=90541



【学校見学会について】

小規模特認校学校見学会の参加申込については、以下のページをご覧ください。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/shokibokou/24738.html>



小規模特認校に係る保護者説明会資料

1. つくば市の教育と小規模特認校について

つくば市の教育・学術及び文化の振興に関する根本的な方針を定めたつくば市教育大綱は、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を最上位の目標としています。市内各学校では、「教えから学びへ」の考え方のもと、こどもたちの探究する力の育成を目指しています。また、自己選択や自己決定の機会を増やし、こどもたちが主体的に考えて行動する力を養っています。さらに、学力だけでなく、やり抜く力や協調性、創造性などの非認知能力を育むことも重視しています。

小規模特認校（栗原小学校・谷田部南小学校）では、つくば市教育大綱の方針と共通する部分が多くみられるイエナプラン教育の理念や取組を参考に、教育活動を展開しています。

＜つくば市教育大綱とイエナプラン教育の主な共通点＞

- ・こどもが自ら問いを立て、探究する学びを大切にすること
- ・異学年での学びを推進して、社会性や協調性を育む点
- ・社会とのつながりや体験を重視する点 など

2. 少人数だからこそできる5つの特色ある教育活動

(1) 自分のペースで確実に学ぶ

きめ細かな 学習支援	・一人ひとりの学習状況を把握し、興味関心や学習状況に応じた学びの機会を設けることで、学習内容の定着を促します。
自律的な学び への支援	・一人ひとりが学習内容、方法、場所等を選んで、自分に合った学習の仕方学んでいけるように支援します。 ・目標設定の仕方、学習計画の立て方、振り返りの方法等を学ぶことで、自ら学び続けることができるようにします。

(2) 友人・先生と深くかかわる

社会性を育む 異学年学習	・異学年で学ぶ機会を増やし、年齢を超えた様々な考えに触れることで気付きや考えの深化を促します。 ・話し合いの中で、他者の発言に耳を傾け、受け止めることの大切さを学びます。また、集団への所属感を高め、自分の考えを相手意識をもって表現する力を育みます。
互いのよさを 生かす 生活環境	・学年を複数の教員で担当する機会を設け、児童を多面的に見取りながら、一人ひとりのよさを伸ばします。 ・朝や帰り、給食・清掃の時間を異学年グループで過ごし、助け合いや思いやりの心を育みます。

(3) 問い（やりたいこと）にとことん向き合う

体験・探究を 通した学び	・午後は、体験的・探究的な学習を中心に行い、児童が問いにとことん向き合う時間を大切にします。 ・専門家等と一緒に学習する経験を通して、試行錯誤しながら学ぶ楽しさを味わえるようにします。
-----------------	---

チームでも 個人でも探究	・共通のテーマを基に、チームで取り組む探究学習を通して、課題発見や課題解決の方法を学びます。 ・個人の問いを追究する探究学習を通して、粘り強く学習に取り組む力を育みます。
-----------------	--

(4) わくわくが盛りだくさん

豊富な実体験	・外部人材（地域・専門家）を積極的に活用して多様な学習を展開し、知的好奇心や探究心を育みます。 ・学園内の学校と学習や行事等で交流し、多くの出会いや発見を得ます。
英語やICTに 触れる機会	・ALT と学校生活の様々な場面で一緒に活動したり、外国の方々と交流したりすることを通して、国際感覚を養います。 ・プログラミングやAIを活用し、筋道を立てて考える力や情報を活用する力を育成します。

(5) 活躍と挑戦の機会がある

すべての児童 に役割がある 学校生活	・アイデアを出し合いながら異学年交流や学校行事等を計画する中で、一人一役のもと挑戦する経験を積み、活気ある学校生活を送れるよう支援します。
身近な社会と つながる活動	・学校生活や地域をよりよくするために、自分たちにできることを考え、実行することで、身近な社会とつながり、社会に貢献しようとする態度を育てます。

3. 日課について

小規模特認校の2校に共通する日課の特色として、以下の2点があります。

- (1) 異学年で活動する機会を多く設けています。
- (2) 5時間目を長めに設定し、体験や探究を中心に、学びたいことをじっくり学べるようにしています。

日課のイメージ

	月	火	水	木	金
朝の会	異学年による活動				
1時間目	【国・算・社・理・英等の学習】 ・一人一人の進度に応じた個別の学び ・友達と一緒に学ぶ協働の学び				
2時間目					
3時間目					
4時間目					
給食 清掃	異学年による活動				
5時間目 (ロング)	【つくスタ・音・図・体・家等の学習】 ・学びたいことを、思い切り学べる探究的な学び ・多様なコミュニティ（人材）を生かした学び				
帰りの会	異学年による活動				